

→福岡最古の前方後円墳の形は…

那珂八幡古墳
(博多区那珂)

福岡平野最古の前方後円墳といわれる那珂八幡古墳ですが、現在は墳丘の半分が削られていて、前方後円墳の形をとどめていません。

古墳の失われた部分の形を確認するため、2019年2月に発掘調査を実施しました。その結果、本来の前方後円墳の形が復元できただけでなく、前方部と後円部の長さの比率が前方後円墳を作り始めた頃によく見られる近畿地方の古墳の比率ではなく、北部九州独自の比率であることが分かりました。

そのほかに、前方部の隅に通路のような平坦な段があることも確認されました。同じような段は弥生時代の終わり頃の「墳丘墓」にもみられ、那珂八幡古墳が弥生時代の墳丘墓の影響を受けてつくられたとも考えられます。

今回の調査によって那珂八幡古墳の本来の形が明らかになりましたが、今後も調査結果の検討を進めていけば、福岡平野での古墳の成り立ちが明らかになることが期待されます。



現地説明会のようす

※現在は発掘調査は終了し、遺跡はすでに埋め戻されています。

→4月・5月のイベント情報

4月

- 7日 飯場神楽 (市指定有形民俗文化財)
会場：早良区飯場143 飯場大山祇神社
- 14日 香椎宮奉納獅子楽 (県指定無形民俗文化財)
会場：東区香椎4-16-1 香椎宮
- 15日 山ほめ祭 (県指定無形民俗文化財)
会場：東区志賀島877 志賀海神社

5月

- 3～4日 博多松ばやし
- 3日 菜の花まつり
会場：西区吉武194 吉武高木遺跡やよいの風公園
- 18日 考古学講座第1回 細井浩志氏「日本人と暦」
会場：埋蔵文化財センター
- 18日 国史跡 金隈遺跡やよいミニトーク
会場：博多区金隈1-39-52 金隈遺跡
- 18日 赤煉瓦文化館ガイドツアー
会場：中央区天神1-15-30 赤煉瓦文化館
- 25日 国史跡 野方遺跡やよいミニトーク
会場：西区野方5-11-25 野方遺跡

福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1
TEL: 092-711-4666 FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること
文化財活用課 TEL:092-711-4666

史跡の整備・活用に関すること
史跡整備活用課 TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること
埋蔵文化財課 TEL:092-711-4667

埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること
埋蔵文化財センター TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！



歴史の風 ふくおか文化財だより

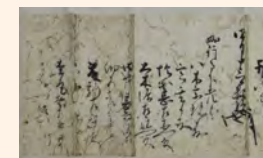
Vol.20 2019年4月

～新！市指定・登録文化財特集～ 新たに16件が市の文化財に！

3月25日に、新たに3件の福岡市指定文化財、13件の福岡市登録文化財が告示されました。これにより、市文化財は指定が計225件、登録が計34件、合計で259件になりました。

◎福岡市指定文化財

1. 妙行寺文書
2. 唐原の祇園山笠行事
3. 一行寺のシダレイチョウ



妙行寺文書

◎福岡市登録文化財

1. 賀茂神社の子ども獅子
2. 中西宮地獄神社の子ども獅子まつり
3. 野芥櫛田神社の獅子舞
4. 東入部熊本の獅子まわし
5. 東入部中通の獅子まわし
6. 紅葉八幡宮獅子まつり
7. 飯盛の夏越しの獅子回し
8. 金武丸天神社の獅子ごもり
9. 金武妙見神社の獅子まわし
10. 畑中の獅子舞
11. 宮浦の獅子まわし
12. 姪浜の獅子まわし
13. 姪浜東町事代神社の獅子まわり



唐原の祇園山笠行事



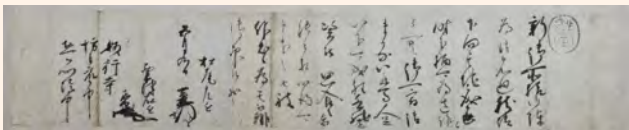
一行寺のシダレイチョウ



東入部熊本の獅子まわし

新指定 妙行寺文書 13点 (古文書)

南区野間に所在する妙行寺に伝来する古文書群です。戦前まで博多川口町(現在の冷泉公園敷地)にあった妙行寺は、明応年間(1492~1501)に創建された博多でも古い歴史をもつ浄土真宗の寺院です。今回指定された戦国時代から江戸時代初期にかけての古文書は、浄土真宗の本山・本願寺との交渉に関わる内容など、福岡市の宗教史や中世都市博多の歴史がわかる貴重な史料です。



天正20(1592)年 本願寺門主の九州下向を伝える書状(手紙)

新指定 唐原の祇園山笠行事 (無形民俗)

東区唐原に伝わる山笠行事です。毎年7月13日の前の日曜日に、集落の氏神である須賀神社(祇園宮)の祭礼として行われている行事です。山作りや山担ぎなど、山笠に関わる行事すべてを、地元の人々が担っています。北部九州には、博多祇園山笠の影響を受けている祭礼が点在していますが、唐原の祇園山笠行事はその一典型といえます。



山笠土台の組み立てのようす



人形の飾りつけのようす

新指定 一行寺のシダレイチョウ 1本

(天然記念物)

福岡市博多区中呉服町に所在する浄土宗一行寺に植えられているイチヨウの木です。真っ直ぐ伸びた幹から四方に枝が垂れ下がり、端正な樹形が特徴です。一行寺は石堂川のほとり、唐津街道沿



一行寺とシダレイチョウ

いの博多の玄関口に位置し、このイチヨウの周辺に大きな樹木がないため、遠くからも望むことができ、良好な景観を作り出しています。

新登録 賀茂神社の子ども獅子ほか12件

(無形民俗)

市内には、獅子が集落の家々を訪問し、無病息災や五穀豊穰を祈願する「門祓いの獅子」に類する行事が約30か所で行われています。そのうち、今回は西・早良区の13件を市の文化財に登録しました。行事の多くは7月に神社の夏越しの祓の祭りにあわせて行われ、地域の青年や子どもたちが参加します。近世から近代にかけて地域に定着し、継承されてきた民俗行事として重要です。



飯盛の夏越しの獅子回し



野芥榎田神社の獅子舞

※ 詳細は、福岡市の文化財HP>新着情報>平成30年度(2018年度)

~埋蔵文化財センターだより~

→「庚寅銘大刀」が国の重要文化財に!

西区元岡で発見された6世紀末頃(古墳時代の終わり頃)の金象嵌銘文入り大刀「庚寅銘大刀」および同古墳出土資料が、3月18日に開かれた国の文化審議会からの答申を受けて、重要文化財に指定されることになりました。これを記念して、各種展示やイベントを現在計画しています。ぜひご期待下さい!



庚寅銘大刀の銘文



福岡市埋蔵文化財センター ホームページ

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>

→木製品の保存処理を行いました

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した資料の保存処理を行っています。今回、昨年6月からPEG(ポリエチレングリコール)という樹脂に含浸させていた木製品の取り上げ作業を、2月26日から3月7日にかけて行いました。

脆弱だった木製品が、樹脂を含浸した後はすっかり丈夫になり、色つきも鮮やかさを取り戻しました。取り上げた木製品は、表面洗浄をして乾燥させたのち、常時空調が管理された特別収蔵庫で保管され、展示などで活用されます。

今回保存処理を行った木製品は、来年2月の保存処理成果展「甕の出土遺物」で公開予定だよ! 乞うご期待!



コッコ



保存処理が完了した木製品